

校訂おもしろさうし

きみぎや、まふり、よわる、たみ
又ごよむさきかさが

(五〇) よそわる大やこがふし

一きこへ、さすかさが、
こへやて、おぎも、やま
又ごよむさすかさが

(五一) あおりやへふし

一きこへ、さきかさが、
おぼつゑが、おれわちへ
あちおそいしよ、
せぢ、ごよで、ちよわれ
又ごよむ、大ぎみぎや、
かぐらゑか、ごりよわちへ

(一)モ、問ノ
有ル事ニ

(二)モ、嶋ニ

(三)モ、此嶋
ニ

又年六とせ、なるぎやめ、
きみてづり、まどうさ
又きら、なふさ、ごるぎやめ、
と物、あまび、めづらしや
又あんどおそいぎや、おより
此きらに、おれわちへ
又このみ、ま、なふちへ、
このゑかま、おれわちへ
又てだが、うざし、やれを、
まよりもり、まさて、
あんどおそいしよ、
せぢ、ごよで、ちよわれ

(五二) うらおそいふし

一きこへさきかさと、

(一)モ、見事
成を云

(二)モ、勝り
云

(三)モ、相手
云

(四)モ、相手
云

校訂おもしろさうし

まふる、きみ、やれた、
くもこいろ、

てりや、あがて、ちよわれ

又ごよむ、大ぎみや、

かいなで、きみやれば

又玄よりもり、ちよわる、

いせゑけり、あちおそい

又まだまもり、ちよわる、

ふが、かいなで、あちおそい

又あまみやから、

あいちへ、きみやれば

又玄ねりやから、

つほこ、きみやれば

又てるかはが、おこごせ、

てるしのが、御こごせ

十二の九二

(一)世おそ
事云

(五三) あおりやへふし

一きこへ、さすかさが

さしふ、おれかわて、

さもゝこの、よそ^(三)う、せぢ、

あんじおそいよ、みおやせ

又ごよむ、さまかさが、

むつき、おれなふちへ

又けおの内と、おしあけて、

玄よりもり、おれわちへ

又もちろ内と、つきあけて、

まだまもり、おれわちへ

又あちおそいよ、ほこて、

たゝみきよ、ほこて

六の一
二十の四四
二十二の一五

(五四) あぢおそいしよしられがふし

一首里、大きみぎや、

ごよむ、くよおそいぎや、

國ふさて、ちよわれ

又けおのうちよ、もどて、

もちろ内よ、もどて

又なさいきよもい、あぢおそい、

なさいきよもい、た^(三)みきよ

又^(三)あまこあわちへ、ならて、

みきやうあわちへ、ならて

又^(四)あけまごし、ならむ

(一)モ、右同
替名ニ
(二)モ、目と
めと見合る
事ニ
(三)モ、右同
(四)モ、明年
云にならばと

(五)モ、明年
異名ニ

む^(五)かうどし、ならむ、

又きみてづり、ほこり、

かみつかい、このめ

又けおさまよ、よりおれや、

ゑかゑらびの、よりおれや

又よりみちゑの、おより、

せぢ、よせの、おなふさ

又おれらかせ、まぶら、

あまばかせ、かいなでら

(五五)

一^(五)より、大きみぎや、

まゑ、ゑらびやり、おれわちへ

きみぎや、せぢ、

もちよろなちへ、まおやせ

六の二
二十の四五

校訂おもしろさうし

又 ごとよむ、國もりぎや、

ませ、ゑらびやり、おれわちへ

又 去よりもり、ちよわる、

ゑぞよや、をへ、あちおそい

又 またまもり、ちよわる、

てだがをへ、あちおそい

又 物、まみやよ、

くよ、あかりを、あふらちへ

又 かわるめの、みうちよ、

きみまない、あふらちへ

又 きこへ、大ぎみちよ、

ゑりちよ、やりかわちへ、

(五六) あおりやへふし

一 去より、大ぎみぎや、

三の二
六の三
二十の四六

(一)モ、しま
ん

此^(一)ゑかの、よりおれや、

をゑよ、ぎやめ、

まぢよく、ちよわれ

又 ごとよむ、國おそいぎや、

此^(二)きらのつきおれや

又 たゝみきよ、

きも、みちへて、あまで

又 みもん、きよら、あふらちへ、

おぼつ、たけ、よきちへ

又 くよふさい、おしたて、

かくらもり、ひちちへ

又 大ぎみに、よし^(三)られ

てるかえよ、の^(四)だてれ

(五七) あおりやへふし

六の四
二十の四七

(三)モ、申上
ル
(四)モ、右同

(二)モ、しま
ん

一 亥より、大さみぎや、

首里もり、おれわちへ、

あちおそい亥よ、

せち、まさて、ちよわれ

又 ごとむ、きみ、ごよみぎや、

又 (一) ませねかて、おれわちへ

又 (二) あまみやから、

又 (三) 是への、きみやれを

又 (四) 亥ねりやから、

又 (五) あいちへ、きみやれを

又 (六) さしふ、五ころよ、

又 (七) さまぶては、おれたれ

又 (八) むつき、七ころよ、

又 (九) かいなで、は、おれたれ

又 (十) 大さみぎや、御さうせ、

てるかとは、のだて、

首里天尙寧王加那志御代

萬曆三十五年ひつしの年拾月十日つちの、この、このへ、
きみ、てづりの、も、がほうことこの、時よ、亥より、大
きみの、御まへより給申

(五八) あおりやへふし

一 亥より、大さみぎや、

首里もり、おれわちへ、

あちおそいしよ、

せち、まさて、ちよわれ

又 ごとむ、くよおそいぎや、

またまもり、おれわちへ

又 あちおそいが、おより、

六の五
十二の九三
二十の四八

(一) モ、しま
(二) モ、むか
しからと云
(三) モ、右同
(四) モ、神人
(五) モ、神人
異名
(六) モ、思慮

わうよせが、おより
 又きらのかた、おれわちへ、
 又かのかた、おれわちへ
 又おれらかた、みまぶら、
 又おれをかた、みまぶら、

首里天尙永王加那志御代

萬曆十五年の年十月十八日みつのこのごりのへ、せの
 きみの、御まへの、かゝり、かわり、めされし時に給申

(五九) あおりやへふじ

一きこへ、せんきみぎや、
 なりきよ、おれふさて
 なさいきよもい、わうよせ、
 せち、まさて、ちよわれ

六の六
 十二の八八
 二十の四九

(一)モ、神人

(二)モ、神人
異名

又よむ、きみ、とよみぎや
 いけな、おれ、なふちへ
 又みもん、内の、きみやよ
 又あまで、なふちへ、からわ
 又かわるめの、まみやよ、
 ほこて、なふちへ、からわ
 又さしふ、五ころよ、
 又おれなふちへ、からわ
 又むつき、七ころよ、
 又みまぶてを、おれたれ
 又あよりもり、ちよわる、
 又あが、なさいきよ、わうにせ、
 又あそながく、せち、まさて、ちよわれ
 又またま、もり、ちよわれ、
 又あが、なさいきよ、わうよせ

六の七
十二の九四
二十の五〇

校訂おもしろさうし

尙寧王がなしみ世

萬曆三十五年ひつしの年十月十日つちのこのみのへよ
せんのみみの御まへより給申

三八

(六〇) あおりやへふし

一きころゑ、せんきみぎや、

とゑ、ごまいて、おれわちへ、

あぢおそいよ、

嶋が、のち、みおやせ

又ごよむ、きみ、ごよみぎや、

ませ、ねがて、おれわちへ

又阿まみやから、

とへの、きみ、やれを

又去ねりやから、

あいちへぎみやれば

又さしふ、五ころよ、

みまぶてす、おれたれ

又むつき、七ころに、

かいなで、と、おれたれ

又大きみぎや、御さうせ

てるかはと、のだて、

首里天ぎやまへ阿んしおそいかふし

首里おもろの御さうし

天啓三年癸亥三月七日

(一)モ、首里
天加那志行
幸之御事

(一)モ、御座
その事

(一) おちいちへ、
去よりちよわちへからのふし、

一首里の、てだご、

天よ、てる、てだご、

まちゆよ、ちよわれ

又みかなし、てだご

てよゝてる、てだご

又てだ、^(二)いちろくと

てよゝ、てるてだご

又てだ、^(三)えちろくと、

てよゝ、てる、てだご

(二)

一首里、^(四)ちよわちへ、
からわ、

去まの、ぬしてだよ、

(二)モ、今事

校訂おもしろさうじ

(一) いみやど、かみえも、こよむ
又ぐすく、ちよわちからの

(三) あかんこうかいよやまがふじ

一 志よりもり、のぼて、いけば、
よのあけて、
てだの、てりよる、やに
又まだまもり、のぼて、いけば

(四) うちいちへをえよりちよわちへがふじ

一首里、もりよ、
わが、おやぐよよ、
あまゑ、ふさよわちへ、
又よかる、ひの、かまよ
きやかる、ひの、かまよ

(五) よきげらへがふじ

一 志よりもり、まだまもり、げらへて
のちまさる、世がけ、ひやし、みおやせ
又えも、あしから、もどあしから、おり、あけて
又たけ、たかく、はりひろく、おり、あけて

(六) あおりやへがふじ

一首里、おわる、てだこが、
たまいしがき、げらへて、
たま、こがね、
もち、みちへる、ぐすく
又ぐすく、おわる、てだこが、
たま、いしがき、げらへて

(一) 柏子之事

(二) 首里天が
なしの御事

(七) あおりやへがふし

一 去よりもり、げらへて、
げらへたる、きよらや、
かみ、しもの、

世そろゑる、ぐまぐ

又 まだまもり、げらへて、
げらへたる、きよらや

(八)

一 たらかまぎや、さいく、
かぐら、ぎやめ、とよで、
去よりもり、

こがね、より、みちへて
又 たらかまぎや、さいく、

おぼつ、ぎやめ、とよで

(九)

一 きこゑ、あぢおそいが
ひがわ、ちやうと、げらへて、
かみ、去も、そろゑる、
世のどで、うちちゑ、みおやせ
又 ごとよむ、あぢおそいぎや

(一〇)

一 きこへ、あぢおそいぎや、
あかた、ちやうと、あけわちゑ、
かみ、てだの、そろて、
ほこり、よわちへ
又 ごとよむ、あぢおそいぎや、

校訂おもしろさうし

まへの、ぢやうと、あけわちへ

又おなり、かみ、たかへて

又(二)せせりきよ、たかへて

(一) あおりやへがふし

一 おもひ、またふきや

よ(二)ねもひと、げらへて、

かぐら、あつる、

くもこ、ごちへ、みをやせ

又かなしわうしやくが

よねもいと、げらへて

又てよ、からわ、ふりおそて

よねもいと、げらへて

又ちいからと、わきあがる

よねもいと、げらへて

(一) モ、おな
りかみのか
いし言葉こ

(二) 米こ

(一) 二

一首里、まちや、おどのいりちへ、

みちゑ、きよらの、みおどん

又ぐま、まちや、おどん

(一) 三

一 志よりもりぐまくごよむ、

世そいもりよの、かほう、

世もつ、せち、みおやせ

又まだ、まもりぐすく

(一) 四

一首里、まだまもり、

せだか、あちおそいや、

(一)モ、母親
之事所に
りて山の神
をか申事
も有
(二)モ、我
(三)モ、父親
之事

校訂おもしろさうし

きみよせ、きらくせきもん
又きみの、もちづきや
せだか、あぢおそいや

(一五)

一たけの、そつなりや、
かほう、そろゑ、わちゑ、
あが、なさいきゆ、
のち、まさり、てづて
又きみのもち月ぎや

(一六) ぢやなのし、まねしやりがふし

一玄より、ふくじ、きよ、
世かる、ゑさの、しゆ、
けおの、めづらしや

又けおのゆかる、ひよ

けおの、きやかるひよ

又がぢやの、うらの、かない、

うつの、うらの、さしけ

(一七) うちいちへるまよりいちやがふし

一首里、たちよもいや、

わか、てだま、

きみく、よ、せれ

又ぐま、く、たちよもひや

(一八)

一首里、あつる、みやがり、
みいきよせ、せんよせ、げらへ
又ぐま、く、あつる、みやがり

(一九) なへたるがおもろのふし

一 亥よりもり、ちよわる、

おぎやかもい、がなし、

天より、亥たの、

わうよせ、てだ

又 まだまもり、ちよわる

(二〇)

一 亥よりもり、ちよわる

世そうせぢ、もち、よわちゑ、

てるかはま、まぶて、

よは、ちよわれ

又 まだまもり、ちよわる

又 てるくもよ、まられ

又 おそて、ごり、やけれ

(二) 日の事、御

又 さし、ふてるくもに

又 もつき、てる、まもん

又 うまかへと、ぬせむちへ

又 むかよりや、まさり

又 けさよりや、まさり

又 かみまもと、そろゑて

又 ちとなれと、そろへわ

又 天が、また、そろへて

又 てるかたが、うさしまよ

(二一)

一首里、わか、さいく、

ま物、おどん、げらへて、

世まさりの、おぎやかもひ、しよ、

とも、ご、ちよわれ

又ぐまぐ、わか、さいく

またゑの、おどん、げらへて

又大ぎみえ、たかべて

又おしかさは、たかべて

又おやのろと、たかべて

又みやき、せんの、あまた、

ほこて、まよる、つかい

(二三) あおりやへがふし

一くよかさのもちよる、

大世のぬし、あんじおそい、

ごもゝまゑ、

そろて、ちよわれ

又くもこもり、おやのろ

又まよりもり、おれて

又まだまもり、おれて

又てるかは、たかべて

又てるしのも、たかべて

又きみくゝと、たかべて

(二三) あおりやへがふし

一首里もり、ぐすく

ままこがね、ぐまぐ、

ごもゝまゑ、

ごひやくさま、ちよわれ

又まだまもり、ぐまぐ、

くよこがね、ぐまぐ

(二四) うらおそいのおやのろがふし

一たまの、みそでがなし、

(一)モ、御日
の事
(二)モ、御月
の事

又よりもり、げらへて、
かみ、又もの、

いくさ、せぢ、みややせ

又げらへ、みそでがなし

まだまもり、げらへて

又又よりもりちよわる、

わかいきよ、^アまて、がなし

(二五) うらおそいおやのろがふし

一げらへ、ゆきなわが

又よりもり、おれわちへ、

世そうせぢ、

おぎやかもいよ、みおやせ

又とよむ、ゆきなわが、

まだまもり、おれわちへ

又きみぎや、よりたは、^ハ

くもこ、よりみちへて

又きみぎや、よりたは、^ハ

こがね、よりみちへて

(二六) うらおそいおやのろがふし

一たまの、みそでがなし、

げらゑ、みそでがなし、

かみまぢや、そろて、^ア

ほこり、よわちへ

又あうの、たけ、大ぬし

なでま、もり、大ぬし

又かゑふたよ、おろちへ

いつこたよ、さらちへ

(二七) あおりやへがふし

一あがるいの、大ぬし

世そう、せぢ、あぢおそい、

天ぎや、ゑた、

せぢやり、やりちよわれ

又きこへ、くよせりきよ、

世そうせぢ、あぢおそい

(二八) きこへ大きみがおれてあまびやうれはがふし

一あまみやとぢまたる、

ゑよりもり、ぐま、

けれど、こがね、うちにたごわる

又ゑねりや、とぢまたる

まだまもりぐま

(二九) うらおそいのおやのろがふし

一あまみきよが、まさいく、

ゑよりもり、げらへて、げらへ、やり、

おぎやかもいよ、みおやせ

又ゑねりやこが、まさいく、

またまもり、げらへて

(三〇)

一あまみきよわ、

大ゑまた、つくて、

やちよ、ゑそよや、まゑ、

おぎやかもいよ、みおやせ

又ゑねりやこが、大しまと

校訂おもしろさうじ

(三二) あおりやへがふじ

一あまみきよが、うざしえよ、

この、大えま、おれたれ、

ごもゝまへ

おぎやかもいと、ちよわれ

又えねりやこが、うざしえよ、

此たえま おれたれ

又ほうむな、とて、ぬきあげは、

ちりさびと、つけるな

又ほうざき、とて、ぬきあげと、

かうさびも、つけるな

(三三)

一なべたるが、おもしろ

もゝつか、わりくる、ぎやめ、

けれど、べよひき、ごよむ

又なべたるが、せるむ

(三四) あおりやへがふじ

一なへたるが、おもしろ、

ぐまぐ、おどの、げらへて、

かみ、えむの、

み物たる、きよらや

(三五) あおりやへがふじ

一ゆだいきよが、おもしろ、

ゑそよや、まへ、てだが、うち、

世、ひろく世、ながく、ちよわれ

又ゆだいきよが、せるむ

(三五) さむちこがおもろおへつきがせるもがふし

一 さばちきよが、おもろ、

こがね、もち、ろくやよ、

ともゝをゑ、

これど、いちゑ、ごよむ

又 さばちきよが、せるむ

又 去よりもり、ぐまぐ

こがね、もちろく、やよ

又 きや、かまくら、あらや

(三六) さはちこがおもろこがねもちろくやまがふし

一 さはちきよが、おもろ、

おゑづきが、せるむ、

ともゝをゑ、

これど、いちゑ、ごよむ

又 きこゑ、ぐすく、おどの

ごよむ、ぐすく、おどの

又 よせくるま、よせて

(二) まちゆの、なわ、えへて

(三七) あおりやへがふし

一 あんの、かね、ぐまぐ

あまゑ、やり、みおやせを、

をへまさて、

ごひやくさま、ちよわれ

又 首里もり、ぐまぐ

あまゑ、やり、みおやせを、

又 あまゑ、やり、みおやせは

こゝろ、ゆるい、みき

(一)モ、眞糸
之事

(三八) まかびたらひよもいがふし

一 たよん、中みねや、

もゝ、あぢより、

およまさり、よわれ

又 たよん、かねづきや

(三九)

一 たよん、中みねや、

たらぬ、かねづきや、

これど、あんじの、

きみし^{アタシ} てだ

又 志よりお見る、てだこ、

みかなしの、てだこ

又 もゝうらおそい、ちよわちへ、

世^セ、そわりよ、ちよわちへ

又 ゐちへ、おわれを、きよらや

つちゑ、おわれを、みぼしや

(四〇) おもろ、ねやがりや、^アせるむ、ねやがりが、^アおも

ろこ、^アそないせるもがふし

一 なかみね、きよ、もん

かねつき、きよ、物

志より、きやん、うち

あまやかせ

又 かない、志ちゑ、きよ、物

さゝげ、志ちゑ、きよ、物

(四一) おもろねやかりの、^アせるねやかりが、^アおもろこ、^ア

そないがふし

一 なかみね、きよ、もん
かね、つき、きよ、物
これいちゑ

あんじおそい、はやせ

又 あかんこ、おもろ、

ねえいんこ、をもろ

又 まいしがね、おもい、

あが、よせて、おかは

(四二) あおりやへがふし

一 あか、むりぎや、おもろ、

くち、まさしや、あもの、

ごもご、おかで、

か、おらよ

又 ごしの、はちまりよ、

ゆア、い事、それを

又 志よりもり、ちよむる

世まさりの、おぎやか

又 まだまもり、ちよむる

世まさりの、おぎやか

又 ひやくさ、(三)さよ志よむちゑ

世まさりの、おぎやか

(四三) あんのあかみねまくちまさしやあ物がふし

一 あんの、あかむりや、

くち、まさしや、あ物、

よ、ひろく、よう、ながく、ちよむれ

又 ごしの、さちまりよ、

よむいごと、みおやせと

(四四) あおりやへがふし

一あかじりぎや、おもしろ、
あまもりの、よもつ、
までみづよ、みおやせば
又けおの、よかるひよ

(四五) あおりやへがふし

一あかじりぎや、おもしろ、
あかじりぎや、せるむ、
おもひ、ぐじを、
ごひやく、さよ、ちよじれ
又けおの、よかる、ひよ
けよの、きやかる、ひよ
又るぞよやをる、やれを

てだがをへ、やれを

又まよりもり、ちよじちへ
またまもり、ちよじちへ

(四六)

一ままぢりが、おもしろ、
くちまさしや、あもの、
ぢ天の、あらぎやめ、ちよじれ
又ままぢりぎや、せるむ
又あぢおそいぎや、
おもいぐじ、つれの、
あぢぎや、たごへる

(四七)

一あんの、あかみねま、

校訂おもろさうし

くち、まさしや、あ物、

てだやれを、

とひやくさま、ちよとれ

又あんの、もとみねま

(四八)

一あんの、あかみねま、

くちまさしや、あ物、

も、ちやら、なおま、

せぢ、もつたゝみ

又あんの、もとみねま

(四九) たくしたらなつけがふし

一せぢこ、なちへ、からは、

とがみ、とかく、なて、

(二)ア、兒之
事

てたが、いのち、

かみが、いのち、

みおやせ

又おもひ、なちへ、からと

(五〇) おもろねやがりが、あまゑとちへから、いみやご、

よとまさりがふし

一かねし、くよかみぎや、

おもろ、こそてきた、

おぎも、だりゑよ、

げすよ、をもとれゝ

又かねし、くよかみが、せるむ

(五一) あんのあかみねまがふし

一かねし、くよかみが、せるむ、

よかるくよかみぎや、

天が、また、

だりじよ、ごよみ、よけれ

一 亥よりもり、ちよる

おぎやかもい、がなし

又 ぬちる、おむれを、きよらや

つちへ、おむれを、きよらや

(五二) あをりやへがふし

まみちけが、おもしろ、

そゑの、くち、まさしや、

ごも、そゑ、

ごひやくさむ、ちよむめ

又 けよの、よかる、ひよ

けおの、きやかる、ひよ

又 大きみて、たかべて、

くよもりと、たかべて

又 首里もり、ちよる

世まさりの、おぎやか

(五三) あおりやへがふし

一 まみちけが、おもしろ、

くち、まさしや、あ物、

ゑぞよやをへ、

おもいぐむを、ちよむれ

又 けおのよかるひよ

けおのきやかるひよ

又 亥よりもりぐすく

まだまもりぐすく

又 も、うらおそいちよむちへ

まゑのおどんちよむちへ

(五四) かつれんはいきやるかつれんがふじ

一なをぢ、きよむ、

けよむ、のが、まよらい、

いみき、もり、ちよ、いちよ、

なまや、まゆるな

又なおぢ、きよむ、

なまむ、のが

(五五) うらおそいおやのろがふじ

一なおぢ、きよむ、

まよしかち、くれむ、

しま、ひろく、

くよひろく

ちよむれ

又なおぢきよむ

御まるかち

(五六) うちいちへはおやみかまがふじ

一なおぢ、をも、かげや、

あんの、おもかげや、

まかてのてのおもいちゑのてだ

又あんからど、まかる

げすからど、まかる

註、かむかし翁有餘多子をもてり中にもなおぢきよむと申ハ名人なり或時なま魚持て預

ケたる人有時過取參りたればくさり無なり辨てやらんそれ共更に取りすと角本の魚
を取と申やらすむ家財取と頼に云翁詔て申なおぢきよむ家よあらば何ぞケ様のこあらん
いづく共尋よと也なおぢきよむと申は世界は一朝の露何ぞ安堵の思を成す國中は我が
家こ國人は皆兄弟と申ていつち共なく周流して家よあらず歸る事の遅きを待詔て作
たるおもしろ是也(この註は右三首に跨りて各行の間に書かれし問書即ちエーヂヤガキ

(五七) ぐさくまの大や又よしの大やきゆんうちあまへが

ふじ

一つるこ、よくけしや、

よかる、よくけ、しや、

たまつむ、きゆん、うち、みちやる

又おい人よ、とゑを、

ひとのおやよ、とへば

又けさよりや、まさり

むかよりや、まさり

(五八) たまつも、きやうの内がふじ

一つるこよくけ、しや、

よかる、よくけ、しや

みやがの、とり、

みやがの、とし

又なかへ、まうとりや

くもへ、まうとりや

又とりむ、物、ゑると、

としも、物、ゑると

又くめえ、いなへ、やり

けらま、まい、こゑて

(五九) きこゑあおりやへかこゑゑやまゑきやめもがふじ

一きこゑ、おしかけが、

ゑよりもり、おりにちへ、

きみつぼよ、

おぎやかもいよ、

みおやせ

又きみのよ、せこのが、

またまもりおりむちへ

又さしふ、いつ、ころよ

おれなおちへ、からむ

又さしふ、なつ、ころよ

おれふさて、からむ

(六〇) 夫よりちよむちへからしまのぬしてだがふし

一 おぎやか、へどもいや、

おぎやか、夫ひつぎや、

さそかおそい、

世、そむて、ちよむれ

又夫よりもり、ちよむる

おぎやかもい、がなし

(六一) 夫よりちよむちへからしまのぬしてだがふし

一 おぎやか、へどもいや、

おぎやか、夫ひつぎや、

てだの、てらぎやめ、ちよむれ

又夫よりもり、ちよむる、

おぎやかもい、がなし

(六二) 夫よりちよむちへから夫まのぬしてだがふし

一 おぎやか、へどもいや

あちく、せの、このみ

ともん、みやぶ、

かみ、夫もの、とよみ

又おぎやか、夫ひつぎや

(六三) おなしふし

一 おぎやか、へどもいや、
 おぎやか、まひつぎや、
 あぢ、てだ、おやまで、へらい
 又(二)きやがま、さへまゐるな、
 はたま、さへ、まゐるな、
 又まられ事、あらま、
 なかどり、やり、まられ、

(二)モ、近く
 よるなとい
 ふ事

(六四) まよりちよちへからままのぬしてだがふし

一 おぎやか、へどもいや、
 おぎやか、まひつぎや、
 をふれ、おぎも、やま、
 又まよりもり、ちよちる

おぎやかもい、がなし

又ちよか、ぢやなの、おきて

ぢよか、ごかしき、よや

(六五) おもいこ、たうつかふし

一 おぎやか、へどもいや、

まより、おやぐよ

おてからま、

ごもゝまゑ、

あまゑ、よま、ならめ

又おぎやか、まひつぎ、が

まが、おやぐよ、おてからは

(六六) まよりちよちへからままのぬしてだがふし

一 おぎやか、へどもいや、

おぎやか、まひつぎや、
もゝあぢの、みあぐも、ただ
又まよりもり、ちよむる
おぎやかもい、がなし

(六七) おなしふし

一 おぎやか、へどもいや、
おぎやか、まひつぎや、
ごもゝまゑ、
これど、いちへ、とよま
又まより、おむる、てだこ、
ぐすく、おむる、でだこ

(六八) あおりやへがふし

一 きこへあぢおそいが、

おもかこよ、ちよむちへ、
まま世の、あらぎやめ、ちよむれ
又ごよむあぢおそいが、
かねの、しま、ちよむちへ
又きこへあぢおそいが、
まよりもり、ちよむちへ、
てるかこが、てりよる、やよ、ちよむれ
又ごよむあぢおそいが
まだまもりちよむちへ
又きこゑ大きみぎや、
うら、ごよみ、めまよむちへ、
ままよの、あらしきやで
又ごよむせたかこが、
ごよみ、おうね、めまよむちへ、
又きこゑ大きみぎや、

うらまじり、めまよじちへ
ままよの、あらぎやで

(六九) あおりやへがふし

一 おぎやかもいがおこのみ、
ぢとなれと、そろへて、
あまゑ、のちやらと、げらへて、
ごもゝまへ、ぎやめも、
おぎやかもいまよ、

まゑまさて、ちよじれ

又あぢおそいが、おこのみ

又大ぎみと、たかへて

又をなりぎみ、たかへて

又けさよりも、まさり

又むかよりむ、まさり

又まゑのじう、やれば

(七〇) あおりやへがふし

一 おぎやもいぎや、

おこのみの、なみまつ、

おぎやかもい、ほこて、

まゑまさて、

ゆだ、さちゑ、ちよじれ

又あぢおそいぎや、

おこのみの、なみまつ

又あまみきよじ、

ままと、つくりよじちへ

又まねりきよじ、

くよは、つくりよじちへ

又おぎやかもいが、

去また、けやむし、よむちへ
 又あぢおそいが、
 くよは、けやむし、よむちへ
 又かみまむと、そろへて
 又ちはなれも、そろへて
 又かみてだも、まふりよむ

(七一) あおりやへがふし

一 おぎやかもいぎや、をこのみ、
 大みちと、げらへて
 又かまつ、うゑさちゑ
 かみてだの、そろて
 ほこり、よむちゑ
 又あぢおそいが、おこのみ
 又けおのよかるひよ

又けおのきやかるひよ
 又大きみと、たかべて
 又きみくゝと、たかべて
 又はり、ひろく
 大みち、げらへて

(七二)

一 おぎやかもいが おこのみ、
 ゑんかくじ、けらいて、
 いのりよれと、
 てだが、ほこり、よむちゑ
 又あぢおそいが、おこのみ
 又大きみと、たかべて
 又みやてらと、げらへて
 又きみくゝと、たかべて

又かみまむと、そろへて
又ちとなれと、そろへて
又みやてらのすでみづ、

おぎやかもいよ、みおやせ、
ともゝをる、とひやくさを、ちよとれ

(七三) あおりやへがふじ

一 おぎやかもいが、おこのみ、

まつなみま、うるさちる、

ともゝをる、ぎやめも、

かみまもの、みもんする、きよらや

又あちおそいがおこのみ

又大きみてたかべて

又きみくゝとたかべて

又けおのよかるひよ

又けおのきやかるひよ
又をるの、むう、やれと

(七四) あおりやへがふじ

一 まかるこが、おもう、

をるの、おどの、ちよとちる、

つぼ、よみま^(三)やく、ぬきあげと

をるまさて

とひやくさを、ちよとれ

又大ぎみぎや、もちなし

をるの、おどのちよとちる

又きみのあちのもちなし

をるの、おどの、ちよとちへ

又おぎやかもいがなしぎや

をるのおどのちよとちへ

(一)モ、御座
(二)モ、神酒
之事

又きこへあぢおそいぎや

又けおのよかるひよ

又けおのきやかかるひよ

(七五) あおりやへがふじ

一あがごもいぎや、おもう、

おぎやかもいよ、煮られ、

煮まそ目て、

ともゝを煮、ちよ目れ

又あかごもいぎ、せるむ、

又おぎやかもいが、おこのみ

う煮さちやる、目かまつ

又あぢおそいがをこのみ

う煮さちやる、目かまつ

又大きみと たかべて

きみくそ たかべて

又とし、煮らびやり

又つき、煮らびやり

又天ぎ煮たこよで

(七六)

一おぎやかもいが、おこのみ

げらへたる、御くら

もゝくら、ひきよせて、みおやせ

又あぢおそいがおこのみ

又けおのよかるひよ

又けおのきやかかるひよ

又大きみとたかべて

又きみくそたかべて

又きこへおやごまり

校訂おもしろさうし

又 ごとよむおやどまり

又 ごとよむおやどまり、ぎやめも

(七七)

一 おぎやかもいが、おこのみ、

そゑの、御くら、そゑて、

かみまもの、たから、

つで、みおやせ

又 あちおそいがおこのみ

そゑの御くら、そゑて

又 大ぎみとたかべて

くらなみと、げらへて

又 きみくたかべて

又 けおのよかるひよ

又 けおのきやかかるひよ

又 けさよりもまさり

(七八)

一 ゑぞよやの、うちや、

あまへ、やべら

ほこり、やべら

又 てだが、うちやれを

(七九)

一 いちやとなが、おもしろ

あちとゑが、せるむ、

ともと、

も、うらおそい、ちよとれ

又 あまの、かなしやよま、

ささふ、てつ、ちよとれ

(一)ア、御日の御子とそ
の御子の祖
父と
(二)ア、家内
之事
(三)嬉しやす
るこ

首里大君せんきみ君かなし

もゝとふみあかりきみの
つんしのおもろ御さうし

天啓三年^{癸亥}三月七日

- (一)モ、肝心
- (二)モ、面讀
- (三)モ、來年
いふ事
- (四)モ、御拜
の事
- (五)モ、慶の
事

(一) あぢそいまよせりがふし

一 去より、大きみぎや、
 ことむ、くよおそいが、
 くよふさて、ちよけれ
 又けおの、うちに、もどて
 又あよが、うち、もどて
 又なさいきよもい、あぢおそい
 又なさいきよもい、たゝみきよ
 又あまこ、あぢちへ、ならて
 又みきやう、あぢちへからて
 又あけまどし、ならて
 又むかうどし、ならて
 又きみてづり、ほこり
 かみつかい、このめ

校訂おもしろさうし

(六)モ、今日

又(六)お、(七)ごまよ、よりおれや

(七)モ、言葉

ゑか、ゑらびの、ゆりおれや

(八)モ、御爲

又よりみちへが、お(八)より、

せぢよせが、なおさ

又おれらかた、まぶら、

あををかた、か(九)いゑら

(九)ゑはなで
の誤りか

(三)

一 志より大ぎみきや、

たへゑらびやり、おれ(六)ちへ、

きみきみ、せぢ、

もちよる、なちへ、みおやせ

又(七)ごよむ、く(八)よもりぎや、

ませゑらびやり、おれ(九)ちへ

又(十)志よりもり、ちよ(十一)る、

ゑぞ(十二)よや(十三)たへ、あぢおそい

又まだ(十四)まもり、ちよ(十五)る、

てだか(十六)たへ、あぢおそい

又み(十七)もん、うち(十八)の、まみ(十九)やよ、

くに、あかり(二十)た、あふ(二十一)らちへ

又(二十二)が(二十三)見る(二十四)めの、み(二十五)うちよ、

きみ(二十六)ま(二十七)ない、あ(二十八)ふ(二十九)らちへ

又(三十)き(三十一)こへ、大(三十二)き(三十三)み(三十四)ちよ、

ゑり(三十五)ちよ、やり(三十六)か(三十七)見(三十八)ちへ、

(三) あおりやへがふし

一 志より、大ぎみぎや、

この(三十九)ゑか(四十)の、よりおれ(四十一)や、

たへ(四十二)よ、ぎ(四十三)やめ、

ま(四十四)ち(四十五)よく、ち(四十六)よ(四十七)る

校訂おもしろさうし

又さよむ、くよ、おそいぎや、

このきらの、つきおれや

又たゝみきよ、きもてへて、

又みもん、きよら、あふらちへ、

おぼつ、たけ、よきちへ

又くよふさい、おしたて、

かくらもり、ひゝちへ

又大きみよよしられ

てるかたよ、のたてれ

(四) あおりやへがふし

一 去より大きみぎや、

去よりもり、おれむちへ

あんじおそ、いそゆ、

せぢまさて、ちよむれ

四

(一) やらち

(二) モ、行

(三) やらち

(四) モ、申上

(五) モ、右同

(一) モ、昔

(二) モ、むか

(三) モ、搦撫
といふ事
(四) モ、御了
簡

又さよむ、きみさよみぎや、

ませねかて、おれむちへ

又あまみや、から

去への、きみやれえ、

去ねりや、から、

あいちへ、きみ、やれむ

又さしふ、五ころよ

みまぶてむ、おれたれ

又むつき、七ころよ

かいなでてむ、おれたれ

又大きみぎや、御さうせ、

てるかたよ、のだて、

首里天尙寧王加那志之御代

萬曆三十五年ひつしのごし十月十日つちのこのみのへよ

校訂おもしろさうし
きみてつりの、もゝかほう、この時よまより大きみの
御まへより給候

(五) あおりやへがふし

一 玄より大きみぎや、
玄よりもりおれむちへ、
あんじおそい玄ゆ、
せぢまさて、ちよむれ
又 ごとよむ、くよおそいぎや、
まだまもり、おれむちへ
又 あんじおそいが、おより、
わうよせが、おより、
うらのかぢ、おれむちへ、
ゑかのかぢ、おれむちへ、
又 おれらかぢ、みまぶら、

あまばかぢ、みまぶら

尙永王加那志之御代

萬曆十五年丙のとし十月十八日みづのどの、ごりのへよ、
せんきの御まへのかゝり、かむり、められ候時よ給候

(六) あおりやへがふし

一 きこゑせんきみぎや、
なりきよ、おれふさて、
なさいきよもい、むうよせ、
せぢまさて、ちよむれ
又 ごとよむ、きみごとよみぎや、
いけな、おれなおちへ
又 みもんうちの、まみやよ、
あまで、なおちへ、からむ、

(一)モ、世界
之事

(二)モ、世界
之事

校訂おもしろさうじ

かむるめの、まみやよ、

ほこて、なおちへ、からむ

又さしふ、五ころよ

おれなおちへ、からむ

又むつき、七ころよ、

みまぶてを、おれたれ

又まよりもり、ちよむる

あが、なさいきよ、むうよせ、

をる、ながく、

せぢまさて、ちよむれ

又まだまもり、ちよむる、

あが、なさいきよ、むうよせ、

尙寧王加那志御代

萬曆三十五年ひつしのごし十月十日つちのごのみのへよ

せんきみの御まへより給申候

(七) あおりやへがふし

一きころ、せんきみぎや、

をへごまいて、おれむちへ

あんどおそいよ、

まが、いのち、みおやせ、

又ごよむ、きみごよみぎや、

ませねがて、おれむちへ

あまみや、から、

をるの、きみやれを、

又まねりや、から、

あいちへ、きみやれば

又さしふ、五ころよ、

みまぶてを、おれたれ

(三)モ、さしふ

(四)モ、我こ

四の六〇

(一)モ、人の筋目眞筋といふ事こ

(二)モ、むかしん

(三)モ、相手ん

(四)モ、くでこは託女の事ん

(五)モ、上の
さしふのこ
とん

(六)モ、思慮
の事ん

(一)問切のお
ふか人の女
房のことん

校訂おもろさうじ

又むつき、七ころよ、

かいなで、ま、おれたれ

又大きみぎや、御さうせ

てるかはと、のだて、

(八) きみがなしおもろのふじ

一きこゑ、きみかなし

あれ、あまへれ、やちよこ

又とよむ、きみかなし

又まより、もりぐすく

又まだま、もりぐすく

又ことし、かほう、とし

又ことし、うまれ、とし

(九) きみかなしおもろのふじ

一きこへ、きみがなし、

おもうやよ、げらへ、

世の、つぢ、ちよむれ

又とよむ、きみかなし

又いつむいつむ

又きこゑあんしおそいや

又とよむ、あんしおそいや

(一〇) きみがなしおもろのふじ

一きこゑ、きみがなし、

おぎも、せぢ、やりよと、

おきなむ、たうり、やり、かない

又とよむきみ、がなし

又きこゑ、あんじおそいや

又とよむ、あんじおそいや

(一一) きみがなしおもしろのふし

一きこゑ、きみがなし

せちせや、まよをを、

せちよを、おせアタシめ

又とよむ、きみがなし

又きこゑあんし おそいや

又とよむ あんし おそいや

(一二) きみがなしおもしろのふし

一きこゑ、きみがなし、

てもち、なを、ぬへをちへ、

またま、ゑらで、

よてこう、ぬちへ、みおやせ

又とよむきみがなし

又きこゑあんじおそいや

又とよむあんじおそいや

(一三) きみがなしがふし

一きこゑ、きみがなし、

うらのかた、

おそう、世を、

世のてもち、

まへよ、よせを、

又とよむきみがなし

又きこゑあんじおそいや

又とよむあんじおそいや

(一四) きみかなしがふし

一きこゑ、きみがなし

おれて、おれふさよ巳、
なさいきよもいよ、

世の、せぢ、みおやせ

又 又よむきみがなし

又 又よりもり、ちよ巳る、

なさいきよもいよ、

世の、せぢ、みおやせ

又 又まだま、もり、ちよ巳る、

なさいきよもいよ、

世の、せぢ、みおやせ

又 又かぐら、ぎやで、とよで

又 又おぼつ、ぎやで、とよで

又 又いくさ、せぢ、まさりよ巳

又 又うら、あかりの、とよみ

又 又ふみ、あかりの、とよみ

(一)モ、空
(二)モ、空

(一五) きみがなしがふし

一きこゑ、きみがなし、

だよせ、とよみよ巳れ、

げせ、まゝ人、

まだまやり、ちよ巳れ

又 又よむきみがなし

又 又きこゑ、あんにおそいや

又 又とよむ、あんにおそいや

(一六) きみがなしがふし

一きこゑ、きみがなし、

たけ、きよらやと、ゑやちへ、

かみく、あまへる、きよらや

又 又とよむ、きみがなし

又のろく／＼、去らも、なりより
又かみ／＼、去らも、なりより

(一七) きみがなしがふし

一きこへ、きみがなし、

世りもりよ、ちよむちへ、

去まがおゑる、ぎやめ、ちよむれ

又とよむきみがなし

(一八) きみがなしがふし

一きこへきみがなし

きみが、いのる

もりよ、ちよむちへ、

去まが、おゑる、ちよむれ

又とよむきみがなし

(一九) きみがなしがふし

一きこゑ、きみがなし、

おれこれ、

さうせ、やり、あぶて、

又とよむ きみ、がなし

又去ま中の、あまた

又去、めきの、あまた

(二〇) きみがなしがふし

一いげり、きみよしや、

なさいきよが、おせち、

も、あぢ、たちあむん

又なさいきや、きみよしや

(一一)

一 いげり、きみよしや、
 だよま、なさいきよもい、
 たう、みやこ、きや、かまくら、
 かなせ
 又 なさいきや、きみよしや

(一二) きみがなしがふし

一 きこゑ、きみがなし、
 てるかとは、たかべて、
 あんじおそいま、
 まゑまさて、ちよせれ
 又 ちよむきみがなし
 又 ちよよりもりぐすく
 おれなおちへ、からせ

又 またまもりぐすく
 おれなおちへ、からせ
 又 さしづ、いつゝころよ、
 おれなおちへ、からせ
 又 さしづ、なゝつころよ、
 おれなおちへ、からせ
 又 ともゝまゑ、ぎやめむ

(一三) きこへきみがなしねいしまいしがふし

一 きこへ、きみがなし、
 ちまうち、せのたかや、
 くようち、せぢ、あちおそい
 又 ちよむきみがなし
 又 きこゑ、あが、なさいきよ
 又 ちよむ、あが、なさいきよ

(二四) きこへきみがなしねいしまいしがふし

一 きこゑ、きみがなし、

たくだる、げまの、

うちやり、さらめ

又 又きこゑあんじおそいや

たくだる、げまの

(二五) きこへきみがなしねいしまいしがふし

一 きこゑ、きみがなし

おりほしや、ちよむちへ

又 又きこゑあんじおそいや

又 きこへあんじおそいや

又 又きこゑあんじおそいや

(二六) きこへきみがなしとちやるまさりがふし

一 きこゑ、きみがなし、

ねいし、まいしの

あらぎやめ、ちよむれ

又 又きこゑあんじおそいや

又 きこへあんじおそいや

又 又きこゑあちおそいや

(二七) きこへきみがなしねいしまいしのふし

一 きこへきみがなし

ともゝど、ちよむれ

又 又きこゑあんじおそいや

又 きこゑあんじおそいや

又 又きこゑあちおそいや

(二八) きこへきみがなしねいしまいしのふじ

一 きこへきみがなし

きみがなし、 けやむちへ、

大ぐまぐ、 おれむちへ

又 又よむきみがなし

きみがなし、 けむちへ

(二九) きこへきみがなしねいしまいしのふじ

一 きこゑ、 きみがなし、

きみがなし、 みちやる、 まさり

又 又よむきみがなし

又 きこへあぢおそいや

又 又よむあぢおそいや

(三〇) ねいしまいしのふじ

一 きこゑきみがなし

おそて、 かけて、

とやけれ、

又 又よむきみがなし

又 きこゑあぢおそいや

又 又よむあぢおそいや

(三一) きこへきみがなしねいしまいしのふじ

一 きこゑきみがなし

のぼて、 みちやる、 まさり

又 又よむきみがなし

又 又よりもりぐすく

又 又まだまもりぐすく

校訂おもしろさうし

(三二) ねいしまいしのふじ

一 きこゑきみがなし

とひやくさま、ちよとれ

又 だよむきみがなし

又 きこゑあんじ おそいや

又 だよむあぢ おそいや

(三三) 大ぐそくおむる世がけよせあぢのふじ

一 きこゑきみがなし

又 おそて、そろへちへへ、

おぎもの、せぢ、まやり、なおせ

又 だよむきみがなし

又 きこへ、あが、なさいきよ

又 だよむ、あが、なさいきよ

(三四) きこへさすかさがつゞみのあぢなりがなし
ふうくまうちませるがふじ

一 きこゑ、きみがなし、

だよむ、きみがなし

けれど、だよの、まただ、やれ

又 きこへあんじおそいや

だよむ、あぢおそいや

又 つくしちやら、ときよとちへ、

てがねまる、さしよとちへ

又 たま、あしぢや、ふみ、よとちへ

(三五) あおりやへがふじ

一 きこへきみがなし

だよむきみがなし

(一)モ、てが
れまる御腰
物異名へ

もゝまの、たから

つで、みおやせ

又まよりもりぐすく

まだまもりぐすく

又きこへあんじおそいや

ごよむあぢおそいや

又そこ、かず、

みおうねかた、

おしうけて

(一)モ、船之
事

(三六) やまぐすくげらへきよらがふじ

一きみがなし、おもろせを、

世かけの、なさいきよが、

あぢおそう、しまうち

又あが、なさいきよ、おもろせを、

世かけの

(三七) やまぐすくげらへきよらがふじ

一きみがなし、きみの、

あぢす、まじゆじめ、

かみ下、おそて、

かなじ、まよじれ

又あが、なさいきよ、てだ

なさいきよす、まじゆじめ

又よきなじ、なつたてば

原のち、かみ、つかい

又およぐすく、なつたてば、

原のち、かみつかい

又じがおやくよ、なつたてを、

原のち、かみ、つかい

(三八) きこゑぐしかせがふし

一 去よりもりぐすく

きみがなし、てづて、

かみ、下、

おしやせちへ、ちよせれ

又 まだまもりぐすく

(三九) いこかぞおもろのふし

一 きこゑきみがなし

去まおそて、ちよせれ

又 じよむきみがなし

又 きこへあんじおそいや

又 じよむあちおそいや

(四〇) うちいては大きみ御まへがふし

一 きみがなし、なつたては、

ゑのち、かみ、このみ、去よせちへ

又 せが大ざと、なつたては

又 たま、みしやく

又 たま、みねぶ

(四一) くまのまでだがふし

一 きこゑきみがなし

じよむきみがなし

かみ、下の、大じよみ

又 下の、世のぬしや

あちの、またの、あちや

(四二) きこへさすかさがきみまぶりよるた、みがふし

一きこゑきみがなし

おれて、とよま

又かぐらの、けい、

又ない、やちよこ

又とよむきみがなし

おれて、とよま

又おぼつの、けい、

又ない、やちよこ

又きこゑおよぐすく

又あが、かね、そへつと、

又とよむおよぐすく

又えろかね、たまきや

又うちおけ、うちおけ、うちうけ

又いちへきや、たまきや
又たまこしけ、うちうけ
又えもりやは、けつか

(四三) かぐらとよむよてがふし

一きこゑきみがなし

又えもり、おれむちへ

かみく、え、うらのかせ、

いのり、やゑて、よせれ

又とよむきみがなし

またまもりおれむちへ

又いけなきみ、さきだて

なりきよかみ、いぐまちへ

又てるかはせ、

世のむすび、つきおろせ

(一)モ、参上
といふ事

校訂おもしろさうし

又てるしのむ、

きみが、くぎ、さし、よけれ

又えよりもり、おやのろ

なよかさの、おやのろ

又かねもりの、おやのろ

みせりきよの、おやのろ

又よしもりの、おやのろ

なよくらの、おやのろ

又^(三)ゑそこ、かよむぎやめ、

あちおそいえよ、

世えり、よけれ、

かみくむ、うらのかず、

いのりやゑて、よせれ

(四四)

(二)モ、舟ん

十二の八三

一きこゑ、きみがなし、

いけな、なり、かむて、

えよりもり、おれむちへ、

なさいきよもいよ、

えまが、いのち、みおやせ

又どよむきみがなし

なりきよ、おれかむて、

またまもり、おれむちへ

又さしふ、五ころよ、

むへどめて、おれむちへ

又むつき、五ころに、

みまぶてむ、おれたれ

又なさいきよもい、あちおそい、

およりどて、おれむちへ

又あが、かいなで、あちおそい

校訂おもしろさうし

(一)モ、世界

みまぶてま、おれたれ
又てるかはが、うざしえゆ、
このきらに、おれ 己ちへ

(四五) やまきたらまさへがふし

一もゝご、ふみ、あがりや、
けさよりや、まさり、
もゝちやらの、
ぬしてだ、なりよ己ちへ
又きみのふみあがりや
又まよりもりぐすく

又まだまもりぐすく

(四六)

一もゝご、ふみあがりや、
みちあけて、
かなひやぶ、てづて
又きみの、ふみあがりや
又きこゑ、みやき、せんよ
又けおの、よかるひよ
又けおのき^(三)やかるひよ

(四七) まへのちなうるじしがふし

一もゝご、ふみあがりや、
おりぼしや、よし、
世がほう、かなし、おどん

(一)モ、今日
(二)モ、吉日

又きみの、ふみあがりや
又けおの、ゆかるひよ
又けおの、ききやるひに

(四八) きみがなしふし

一もゝど、ふみあがりや、
世そうもりよ、
ともよせ、げらへ
又きみのふみあがりや
又玄よりもりぐすく
又まだまもりぐすく

(四九) きこへあらまへがふし

一もゝど、ふみあがりや、
きみの、ふみあがりや、

あまぶ、きよらや

又玄もの、世のぬしの、

おもい、ぐわの、きみの

又がぢやの、うらかみや

よきなむ、ねとて

又玄ま中、かみや、

まちらむ、ねとて

又こくらの、かみの、

こくせの、かみの、

又あやて、まめかたふ、

よりて、まめかたふ、

(五〇) きしかなりがふし

一もゝど、ふみあがりや、
てるかたと、ゆきあて、

(二)行合也

世のつぼよ、

世のつくせ、みおやせ

又きみのふみあがりや

又去よりもりぐすく

又まだまもりぐすく

(五一) きみがなじがふじ

一もゝご、ふみあがりや、

ゑため、ごも、かなしや

又きみのふみあがりや

(五二) きみがなじがふじ

一もゝご、ふみあがりや、

てまぢ、よためかちへ、

あまならちへ、

二五二
二五三

さしふ、たまげ、むちへ

又きみのふみあがりや

又けおのゆかるひよ

又けおのきやかるひよ

註、こゝに勝連おなぢやは首里天の御女に面御座し處も、とふみあかれの按司と神號

御付めされたる由候勝連按司逆心差起首里へいくさ寄い企に付鬼大城と申人おなぢや

らへ此段申上則大城おなぢやらを負上夜中に首里へ逃走けを勝連より打手の者炬松を

付わよやまと申濱追付可及大事之處御神より此おもしろ被下け付而則大城大聲よておも

る仕ゆ處俄黒くもおこり北方へは石あめほり炬火をきし(消)け付打手可及様無之ゆ南

方へは明に申に付大城は急に首里へ走登り大難のかりたる由ん

(五三) きみがなじがふじ

一もゝご、ふみあがりや、

おれて、あまび、よむれば

むかひ、ほこら

又きみのふみあがりや

校訂おもしろさうし

又なさの、たゝみきよが、
お見るてゝ、まらよや

四〇

註、鬼大城おなちやら頁上赤田御門へ参勝連按司逆心之次第御取次申上ひ處夜中に男女
唯二人参ひは御ふしんにい間先は門開間敷由御返事御座ひ處則御神此おもしろ給ひに付
則大城大聲上おもしろ仕ひ處自然御門之鎖子はさらくと開たる由いこ

(五四) かぐらとよでがふし

一きこゑ、きみの、つんし、

とよむ、きみの、わう、

みしま、おれなおせ

又まもんうちの、みうちよ、

あがる、うち、あかりや

又あさごらは、まゆへて、

又ようごらは、さりよく

一さしふ、めつらがて、

(一)モ、早朝
の事
(二)モ、夜入
時之事

二五四
二五五

むつき、かいなで、むちへ

又なさいきよもい、のたてゝ

あちおそいと、いので

又おしあけ、とし、よりおれや、

なおり、とし、よりやれや

又大きみぎや、もちなし

せたかこが、ひきなし、

くよの、ねえ、まなて、

又おこと、あむまよむちへ

又いつこ、あが、なよむちへ、

くそら、やし、なよむちへ、

みしま、おれなおちへ

(三)思事

首里天きやすへあんしおそいかなし

えひ乃ねもろ御さろし

天啓三年^{癸亥}三月七日

第七

(一) むかしそぢめからのふし

一きこゑ大きみぎや、

えよりもり、そぢめよ、

てだが、おさし、あぢおそい、

てるかえと、あいちへなて、ちよべれ

又とよむせたかこが、

まだまもり、はぢめよ、

いちろ、おさし、たゝみきよ

又くよなおす、あぢおそい、

よりみちへと、げらへて、

きとくと、てづて

又まなおす、あんしおそい、

せぢよせと、げらへて、

ぬしくと、てづて

又てるかたが、くよとよむ、

せちあら、みおうち、よそへて、

きもとへて、おれむちへ

又てるしのが、くよとよむ、

けよの、みうち、よそへて、

あよとへて、おれ、むちへ

又いつこ、いのしれて、

きみよ、まぶられて、

世の、さうせ、まされ

又^アみしま、おがまれて、

ぬしよ、まぶられて、

おぎも、せち、まされ

又てるかたが、^アてりよる、下、

あよ、ふてつ、そろいて、

かけおそたる、きよらさ

(二) やかのて、たけがふし

一きこゑ大ぎみぎや、

ちゑねん、もりぐすく、

かけて、ふさよむちへ、

かぐら、あつる、くもこ、

いし、てつご、

おぎやかもいよ、まおやせ

一ごよむせたかこが

一きこゑあんじおそいぎや、

ちゑねんもり、きよらや、

もりぐすく、そいつきよ、ちよむちへ、

又ごよむあんじおそいぎや、

ちやくよもり、きよらや、

もりぐすく、すへつきよ、ちよむちへ

(二)モ、あふ
川の水を撫
ル事

校訂おしるさうし

又きこゑ大ぎみぎや、

あさか見よ、ちよ見ちへ、

すでみづと、めしよ見ちへ、

けおの、うちよ、あつる、

もくちの、てもちへ

又きこへあんどおそいぎや、

あさか見よ、ちよ見ちへ

すでみづと、めしよ見ちへ

又くせきよら乃、大のろ、

もちろ、うちの、もちろ

(三) きみしあんしおそいがちやうとち花のふし

きこゑ大ぎみぎや

やくのきしたけよ、

のぼて、お見ちへ、さかよく、

てだ、てるかどと、

どこへ、やりか見ちへ、

えよりもり、ちよ見る、

あが、たみかなし、

まぶて、まぶりよ見れ

又ごよむせだかこが

(四) や、のきしたけがふし

一きこゑ大ぎみぎや

おぼつたけ、あつる、

すてる、てうみづよ、

かまぎや、きもやてや、

いつこ、しま、おろちへ、

かいなで、みづ、えめまし

又ごよむせだかこが

校訂おもしろさうし

(五) ひやくなうらまろがふし

一きこゑ大ぎみぎや、

おれづむが、たてを、

さやと、まもとしり、

おしあけれよ、ちやうのしゆ、

たますたり、

まきあけれよ、すでもの

又ごよむせだかこが、

わかなつが、たては

又きこゑ大ぎみぎや、

とつよしが、おしいちへは、

さやと、まもをしり、

おしみちへれ、ちやうのしゆ

又ごよむせだかこが、

まらよしやが、おしいちへは

又きこゑ大ぎみぎや、

おれつむが、たては、

まらまよ、としゆ、

みおやせれ

又ごよむせだかこが

とつよしぎやたては

(六) やくのきくたけがふし

一きこゑ、せちあらしきみ、

あがるいよ、ごよむ、

きくやなぎ、たけから、

あがて、おむる、月まゆ、

まよりもり、ちよむる、

あがたゝみ、がなしまゆ、

校訂おもしろさうし

またよ、やひき、よむちへ

又とよむせちあらしきみ

(七) いべのいのりのふし

一大きみと、たかべて、

世ほこりと、げらへて、

天が下

なむかけて、ちよむれ

又くよもりとたかべて

(八) きみのつんしのふし

一きこゑ大ぎみぎや、

みちへづから、いので、

くよもり、ほこて、

くよまさて、ちよむれ

又とよむせだかこが

(九) きこへきみのつんしのふし

一きこゑ、おむかさが、

なさいきよもい、

けれど、だよの、

けおの、うちの、

こがね、はなよ、

たごむる

又とよむおむかさが

(一〇) きこへおむかさがふし

一きこゑ、きみのつんし、

きやの、うちみや、

てもちかね、まだちへ、

けれど、だよの、

亥より、おやぐよ

又ごよむきみのつんし

(一一) くろさよこたかがふし

一亥よりもりぐすく、

あまへ、ぶれまへば、

も、うら、よてこう、

かほう、よせぐま

又まだまもりぐすく

又あがる、もちづきや

又きみの、もちづきや

(一二) うちいでわかふくのもりのふし

一きこゑお見もりや

(一)モ、京

きや、かまくら、

かむらなをん、ぎやめ、

たうみやこ、そろへて、

かな見亥よ見れ

又ごよむお見もりや

(一三) や、のきくたけがふし

一きこゑ、おしかさが、

みてづから、いので、

てだが、おさし、ほこて、

あんしおそい亥ゆ、

かけて、ふさよ見れ

又ごよむきみのあんじや

又亥よりもりちよ見る

世のぬしのあんじおそい

又まだまもりちよる
 又みもん、かなひやぶよ、
 てづて、おろす、きみや、
 てだが、おさし、ほこて
 又てだが、おさし、やれを、
 もちよろ、かなしけや、
 てだが、おし、ほこて
 又玄ま、なおし、おれむちへ、
 ころくよ、みまぶて、
 てだが、おさし、ほこて

(一四) きこへきみのつんしがふし

一きこゑ、てるきみぎや、
 けおの、おれのきやまひ、
 なさいきよが、みおもかげ、たちちへ

又とよむ、てるきみぎや
 又ぐま、おどん、みやげれを
 又玄まうち、おどん、みやげれを

(一五) きこへきみのつんしがふし

一きこゑ、てるきみぎや、

世もちむし、ごりよむちへ、
 玄まうちくせ、
 あんじおそいよ、みおやせ
 又こおりきみ、ゑらび、やり
 又さしふ、いせゑけり
 又せいくさ、たつ、とゑと

(一六) いべのいのりがふし

一きこゑ、大きみぎや、

けよの、うちと、おしあけて、
 去よりもり、おれむちへ、
 ともゝこの、世そ、せぢ、
 あんじおそいよ、みおやせ
 又 ごとよむせだかこが
 もちろうちと、つきあけて、
 まだまもり、おれむちへ
 又 なさいきよもい、あちおそい、
 いけなきみ、いきよむ
 又 あが、かいなで、あんじおそい、
 なりきよぎみ、いきよむ
 又 てるかたが、かいなで、よむる、あんしおそい
 又 てるしのが、まぶりとむる、あんじおそい
 又 あちおそいや、いみやからど、
 去るまさて、ちよむる

(一七) いへのいのりのふし

一 きこゑさすかさが、
 かぐら、より、かゑて、
 去よりもり、めづらしや、
 もちよろなちへ、
 あちおそい、まぶら
 又 ごとよむさすかさが、
 おぼつより、かゑて、
 まだまもり、めづらしや
 又 去よりもりぐすく、
 おぼつたけ、やひちへ
 まだまもりぐすく、
 かぐらたけ、やひちへ
 又 去のかた、おれらに

きらのかき、おれらよ

(一八) やらのきくたけがふし

一あけどまが、たてを、

天のうち、けおのうちは、

おしあけて、

てるかはが、きよらや、

てりおそう、

だしま、まぶりやべら

又あけだちが、たてば

又きこへ大ぎみぎや

まよりもり、ちよる、

かいなであちおそい

又どよむせだかこが

又まだまもりちよる

又きこる、大ぎみちよ、

てだ、てるかごと、

とこる、やりかむちへ

(一九) いべのいのりがふし

一きこる大ぎみぎや、

まへごめて、おれむちへ、

なさいきよもい、あんどおそい、

みきやうあむちへ、

おもかしやど、げよ、ある

又どよむせだかこが、

ませごめて、おれむちへ

又なさいきよもい、あちおそい、

ひやくさ、なるぎやめむ、

おもかむり、まよるな

又あが、かいなで、あんじおそい、

もゝと、なるぎやめむ、

なをかわり、まよるな

又とし、三とせ、なるぎやめ、

きら、なおさ、とるぎやめ、

みもん、あまび、まどうさ、

又とし、四とせ、なるぎやめ、

ゑか、なおさ、とるぎやめ、

くよとよみ、まどうさ

又おぼつ、きみくや

大ぎみと、いので、

まよりもり、おれぼしや

又かぐら、かみくや

せだかこと、のだて、

またまもり、おれぼしや

又そのひやぶ、かなひやぶと、

もりぐま、げらへて、

あまれ、この、そこらしや

(二〇) まよりもりまぢがふし

一きこゑ大ぎみぎや、

むかし、さちめ、から、

まよりもり、のだて、

あんしおそい、みおやせ

大ぎみちよ、あよそろて、ちよ見れ

又とよむせだかこが、

せのみ、さちめから、

またまもり、のだて、

又なさいきよもい、あちおそい、

てるかたが、あがるやま、かけおそて

又あが、かいなで、あんじおそい、
 てるしのが、あがるやよ、てりおそて
 又まよりもり、みうちよ、
 てるかはが、あがるもり、
 もりぐすく、やひちへ
 又まだまもり、みうちよ、
 てるしのが、かねのもり、
 もりぐすく、やひちへ
 又てるかたご、おきもねえ、まなて、
 てるしのご、あよのねえ、まなて

三の五
九の二二

(三二)

一きこゑきみがなし、
 いづこ、まな、より、おれて、
 なさいきよもい、あちおそい、

あまこ、より、かむちへ、
 まなしやど、たちよる
 又ごよむきみがなし、
 このみしま、つきおれて
 又おきもうちよ、よしらす、
 大ぎみよ、しなよ
 又あよがうちよ、おぼへん、
 せたかこよ、まなよ
 又大ころた、みまぶてす、
 おぼつより、かゑれ
 又もりやへこた、あがなです、
 かぐらより、かへれ
 又てるかたが、てるしのが、
 てりよるやよ、おぎも、うまれむちへ、
 なさいきよもい、あんじおそい、

あまこより、かむちへ、
まなしやど、たちよる

(三二) きこへきみのつんしのふじ

一 きこゑ大ぎみぎや、

かいなで、たゝみきよ、

うらくとど、

ゑんざしき、ちよむれ

又 じよむ、せだかこが、

又 去よりもりちよむる

又 まだまもりちよむる

(三三) きみのつんしのふじ

一 きこゑ大ぎみきや、

いべのいのり、去よむちへ

あぢおそいぎや、およりとて、

おぼつより、かゑら

又 じよむせだかこが、

つかさ、いのり、去よむちへ

又 あけどまが、たてむ、

てるかえむ、みまぶれ

又 よむづめが、たてむ、

きみくゝむ、みまぶれ

又 さしふ、てるまもの、

かいなでてす、おれたれ

又 むつき、てるきしやき、

かいなでてす、おれたれ

又 ゑか、なんか、あむで、

あまこ、あむちへ、からい

又 よる、なんか、あむで、

みきやう、あむちへ、からと
 又くよよみ、あおらちへ、
 みものより、めづらしや
 又くよめづら、あおらちへ、
 やゝの、あまび、めづらしや
 又さよ、まらぬ、ころく、
 こむで、あむちへ、てづて
 又かた、まらぬ、まころた、
 みそで、あむちへ、てづて
 又いつこ、しま、なおちへ、
 このみしま、なおちへ

(二四) きこへ大きみかみてづからがふし

一きこる大きみぎや、
 みかなしけ、あんしおそい、

うらくと、

るんざしき、ちよむれ

又とよむせだかこが、

(二五) こかしきのらねつがふし

一きこるあちおそいや、
 てるかえを、まぶれ、
 まぶり、よむば、
 ともゝをる、ちよむれ
 又とよむあちおそいや、
 てるしのを、まぶれ
 又きこる大きみまよ、
 あちおそいや、まぶれ
 又とよむ大きみまよ、
 たゝみきよむ、まぶれ

又あまみや、きみとるや、
 あんじおそいぎや、おより
 又まねりや、きみとるや、
 たゝみきよが、おより
 又おぼつ、せぢ、おろちへ、
 あぢおそいも、まぶれ
 又かぐら、せぢ、おろちへ、
 たゝみきよも、まぶれ
 又かぐら、あつる、金をる、
 あんじおそいよ、みおやせ

(二六) や、のきくたけがふじ

一きみし、あぢおそへが、
 ちやうとちと、なしよむちへ、
 すゑ、まさて、

あまび、ふれまへを、
 かみてだの、ほこて、
 まぶり、よむちへ
 又きやの、うち、あやみやよ

(二七) きこへせぢあらしきみがふじ

一天ちよく、とよみ、よつる、
 世のつぼよ、みしやご、
 あが、たゝみがなしまよ、
 あんじ、かまの、むう
 又きこゑ、はねし、おうね、
 おとがなし、せどまやり、
 あが、たゝみがなしまよ
 又世のつぼよ、もちよむれ、
 よのつくせ、もちよむれ、

あが、たゝとがなしえよ

(二八) うちいてはおきな世のこよがふし

一あけどまよ、いので、

おろす、かみや、

いつこ、やしなやり、

あちおそいよ、まぶれ、

せちたかむ、ほちて

又あけたちよいので

(二九) うちいてまあけこまがふし

一えより、もりぐすくゑ、

おきな世の、いよ世、

あちおそいよ、みおやせ

又まだまもりぐすく

(三〇) えよりもりちよるあがかいなでた、みきよがふし

一えよりもり、ちよる、

みかなしの、てだよ、

おみぎやみよ、おがめを、かなしや

又まだまもりちよる

(三一) くろさよこたりがふし

一みろく、みちへ、やえる、

この、うまれど、まろく、

此としやご、ぬきあげ世ちへ、

世は、ちよ世れ

又けおのよかるひよ

けおのきやかるひよ

又かみの世の、とでや

まものよの、とでや

(三二) くろさよこたりがふじ

一 志よりもりぐすく、

けおせ、のが、まよらまよ、

あまへと、いちよなしやと、まよらい

又 まだまもりぐすく

(三三) きこへ大きみぎやまよりもりはちめがふじ

一 けこの、よきなまが、

もゝうら、まちらまを、

やまご、きやう、かまくら、

ふくよよせ、あぢおそい、

あぢおそいや、あがめばと、

ごもゝご、ちよまを

又 ごとよむ、よきなまが、
又 まもの世のぬしの

(三四) うちいではひやくなうらまへがふじ

一 いつか、なつたゝまよ、

なさいきよ、かなしけや

みやげ、ぼしや

又 いつか、おりたゝまよ

(三五) うちいてまふへのごりのふじ

一 天よごとよむ、大ぬし、

あけもどろの、はなの、

さいじたり、

あれよ、みれよ、

きよらやよ

又ち天とよむ大ぬし

(三六) 老やこのおやがふし

一 巳かさあしどきや、

たまきや、 忍らで、 さちや物

ひやくさ、 なてからは、

こがね、 すへつきやり、

御まへ、 かゞ、 おらよ

又 巳かさ、 あしどきや、

よろい、 忍らで、 きちや物

(三七) くろさよこたりがふし

一 ぎまの、 ようふさよ、

ぎまの、 おもいこよ、

あぢおそいが、

しま、 まるく、 みこい

又 けおのよかるひよ

けおのきやかるひよ

又 およの、 さき、 よりおゑ

さて、 みなと、 よりおゑ

(三八) くろさよこたりがふし

一 世々せ、 みつ、 まゑりゑよ、

たまの、 巳うやれな、

かほうい、 老より、 おやぐよ

又 たまの、 みつ、 まゑりゑよ

(三九)

一 くもこもり、 ちよゑる

あが、 かいなで、 たゞみきよ、

校訂おもしろさうし

てだが、おもい、よむる

また、もちたゝみ

又またまもりちよむる

(四〇) あぢおそいかみしよむちやるきやうきせがふじ

一あぢおそいぎや、

うへさちやる、まつなみ、

ともゝとせ、ごひやくさせ、

いのらめ

又あんじおそいぎや、

たてさちやる、こばなみ

又あんじおそいぎや、

たてさちやる、でしなみ

(四一) こむりきもよりがふじ

一くろさ、よこたりや、

あんの、あんじとゑや、

おみかうの、おがめとの、

よが、あけるやよ

又けおのよかるひよ

けおのきやかるひよ

又よこたりが、かない、

あんじとゑいが、さゝげ

(四二) くろさよこたりがふじ

一こさり、きもよりや、

あんの、きもよりや

てよの、てだ、

あぢおそい、まぶら

又けおのよかるひよ

けおのきやかかるひよ
又去より、ふる、あめや、
まてみづど、ふりよる
又ぐすく、ふる、あめや、
むかみづど、ふりよる

(四三) やのたけきくがふじ

一きこゑ大ぎみぎや、
きらなおちへ、
いけなきみ、
よりおろちへ、
あちおそいゑよ、
せぢまさて、ちよむれ
又とよむせたかこが、
ゑか、なおちへ、

なりきよきみ、

つきおろちへ

一とし、なゝど、さうせむちへ、

去よりもり、よりおろちへ

又とし、やとせ、ねがて、

まだまもり、つきおろちへ

又いせゑけり、あちおそい、

大ぎみと、のだてゝ

又あが、かいなで、むうよせ、

きみくゝと、てづて

又てるかたが、まぶりよむる、

みしま、むうよせま

かけおかで

(四四) いべのいのりのふじ

一 きこゑ 大ぎみぎや、

ゑが、 ゑらびやり、

おれむちへ、

あんじおそいゑよ、

かけふさて、 ちよむれ

又 きこゑ せだかこが、

きら、 ゑらびやり

おれむちへ

又 きこゑ、 てよつぎきや、

およりとて、 おれむちへ

又 ごよむ、 むうよせが、

えたち、 みちへ、 やちよ

又 おおりやへ、 おおりやへ

(四五) たくしたらなつけがふし

一 きこゑ あんじおそいぎや、

ゑよりもり、 ちよむれば、

けよも、 あちやも、

おみきやうよ、

おかむむが、 まさり

又 ごよむ あんじおそいが、

まだまもり、 ちよむれば

(四六) くろさよこたりがふし

一 あんたもむ、 かよ、 あれ、

げす、 たもす、 かよ、 あれ、

めづらしや、 あかん、

ゑより、 おやぐよ

一 きを、 おて、 やちよも、

めづらしや、 あかん

校訂おもしろさうし

又やどり、こしらいや、

めまかしの、まさうき、

こゑがお世ち

又もりのこまらいや

又みるやとゆるきや

又かなやとゆるきや

又あちはやま、なりきよら、おるち

又まはやま、なよす、ア、さ、けてさうけて

(四七) うちいてはいちやまなふし

一さしき、かなもりよ、

世うどれ、くもが、おる

首里天きやすへあんしおそいかなし

おもしろねやかりあかいんこか

おもしろ御さうし

天啓三年 癸亥 三月七日

(一)モ、今と
いふ事
(二)モ、おも
ろの事

(一)モ、御城
京のうちの
事

(一) ときとたるまさしやがふじ

一 おもろ、ねやがりぎや、
あまへ^(一)ちへ、からい、
いみやど、い^(二)みや、まさる
又^(三)せるむ、ねやかりぎや、

(二) あまへ^(一)ちへがふじ

一 おもろ、ねやがりぎや、
時とたる、まさしや、
おふれ、よ、そ^(二)見て、ちよ^(三)見れ
又^(四)せるむ、ねやがりぎや、
又^(五)きやのうち、ぬき^(六)まるが、
時とたる、まさしや
又^(七)ぐすく、二^(八)ぐすく、時とたる

又おどん、二おどの、時どたる

(三) きみがなしふし

一 おもろ、ねやがりぎや、

おまん、たまより、まさり

又せるむ、ねやがりや

又あさか、もど、まん

(四) せへのちまやうるじしがふし

一 おもろ、ねやがりや、

せるむ、ねやがりや、

みちへ、いちゑ、

おもかげど、たちよる

又まもの、世の、ぬしの、

おもい、まかもいや

(一) モ見てん
(二) モ行てん

(五) うちいていおしかけふし

一 おもろ、ねやがりや、

せるむ、ねやがりや

おかう、おかで、

いき、のかせ

又ぼゑむ、いちへき、あぢの、

ぼへむ、ちやくよ、あぢの

(六) きみがなしふし

一 おもろ、ねやがりや、

せるむ、ねやがりや、

おもふ、ぎやめ、ちよとれ

又まもの、世の、ぬしや、

あぢの、またの、あぢ

(七)

一 おもろ、ねやがりや、

世の、さうぞ、いぢやちへ、

かみ、てだの、そろて、

まぶり、よむちへ

一 せるむ、ねやがりや

(二)モ、いだ
ち也

(八) きみがなしふし

一 おもろ、ねやがりや、

のり、がなし、めし、よむちへ、

のり、がなし、ま、うち、

まさり、よむちへ

又 せるむ、ねやがりや

又 きこゑ、あぢおそいや

(九) きみがなしふし

一 おもろ、ねやがりや、

せるむ、ねやがりや、

かほう、てだ

又 爰もの、世の、ぬしや、

あぢの、またの、あぢや

(一〇) おもろねやかりひやくさぎやふし

一 おもろ、ねやがりや、

せるむ、ねやがりや、

まへの、ちな、うるむし、

こやり、うちや、べら

又 爰もの、世の、ぬしや、

あぢの、またの、あぢ

(一一) 世へのちまやうる世しがふし

一 おもろ、ねやがりや、

ひやくさ、ぎやめ、ちよけれを、

しま、たづな、くにごしやん、

みおやせ

又 せるむ、ねやがりや

(一二) 世へのちまやうる世しがふし

一 おもろ、ねやがりや、

せるむ、ねやがりや、

おもろ、たね、こや、べら

又 世もの、世の、ぬしや、

あぢの、またの、あぢや

(一) 手綱也

(一三) すへのちまやうる世しがふし

一 おもろ、ねやがりよ、

せ忍の、くち、まさしや、

おしやへ、まぢへ、

もちみちへる、ぐすく

又 せるむ、このをらよ

(一四) きみがなしふし

一 おもろ、ねやがりや、

ま人の、けいど、

ほしみ、よむる、てだ

又 せるむ、ねやがりや

又 世もの、世の、ぬしや

(一五) うちいてわやくのきたけがふし

一 おもろ、ねやがりや、

せるむ、ねやがりや、

かね、もちの、みこし、

さしやり、ふさ、よせちへ

又 玄もの、世の、ぬしの、

あぢの、またの、あぢ

(二) 御太刀也

(一六)

一 おもろ、ねやがりや

せるむ、ねやがりや、

みほし、みこし

又 とむこが、さゑく、

さいく、とまりや

又 つかさや、みれを、

またま、てる、みこし

(一七) きこへいかつめきがふし

一 おもろ、ねやがりや、

せるむ、ねやがりや、

くになかの、

玄より、もりぐすく、かち

とや、御みつかい

おかで、か、おらよ

又 ぼへむ、世の、ぬしや、

米を、このかゆい

又 けおの、よかるひに

又 けおの、きやかるひよ

(一八) おもろねやがりやきよらやがふじ

一 ねやがりぎや、おもろ

か、^マ まゑ、そやく、いちへ、^マ

おぎもよ、まなまよ

又 まもの、世の、ぬしや、

あぢの、またの、あぢや

(一九) あかいんこおりるがふじ

一 おもろ、ねやがりや、

せるむ、ねやがりや、

おもろよ、みおやせ、

せるむよ、みおやせ

又 まもの、世の、ぬしや、

あぢの、またの、あぢや

(二〇) うちいではむくのまつらいがふじ

一 おもろ、ねやがりや、

せるむ、ねやがりや、

げまの、うれし、かなし、てだ

又 まよりもり、ちよむる、

おぎやかもい、がなし

又 ままなかの、かみ里の

(二一) きみがなしふじ

一 おもろ、ねやがりや、

うとたる、みやかり、

こくらの、げま、まな、

いけて、なかり、よむちへ

又 まもの、世の、ぬしや、

校訂おもしろさうし

あちの、またの、あぢや

(三二) きみがなしふし

一 おもろ、ねやがりや、

またかむよ、^アま^ニつみ、

よむいが、おむちへ、

しま中の、げすの、

そつて、おほこり、まよむちへ

又せるむ、ねやがりや

(三三) きみがなしふし

一 おもろ、ねやがりや、

ひかむひら、ちよむちへ、

けらまよ、御まざり、しよむちへ

又せるむ、ねやがりや、

(二)モ、行水
こ

八の四二

けお、とんた、ちよむちへ

(三四) きみがなしふし

一 おもろ、ねやがりや、

せるむ、ねやがりや、

みやか、よせなり、がなし

又こめま、世の、ぬしの、

ま物、世の、ぬしの、

(三五)

一 おもろ、ねやがりや、

てよより、ま^ニたの、

げま、ゑらぶ、てだ

又せるむ、ねやがりや

(二六) おもろまこいしがふし

一 おもろ、ねやがりや、
 せるむ、ねやがりや、
 とひや、くさき、ちよ、
 又 ちよ、
 又 ちよ、
 おぎやかもい、がなし
 又 てよに、てる、ほし、
 ほし、
 又 ちよ、

(二七) せしきよかなぐそくがふし

一 おもろ、まこいしや、
 こかへ、とよみ、よ、
 てだよ、みちやる
 又 せるむ、まこいしや

(二八) あがるもちづきのふし

一 おもろ、ねやがりや、
 いみやど、世の、まさる、
 てがねまる、
 又 ちよ、
 又 せるむ、ねやがりや
 又 ちよ、世の、ぬしや

(二九)

一 おもろ、ねやがりや、
 せるむねやがりや、
 なおちへ、よく、まさりよ
 又 ちよ、世の、ぬし、
 あちの、またの、あちの

又けお、ふきよる、かせや、
どく、かせど、ふきよる

(三〇) へごのしかふし

一 おもろ、ねやがりや、
せるむ、ねやがりや、
をかう、なくて
又 見らへ、かけよゑやり、
せまる、かけよ、ゑやり
又 やまたと、あやり
とちらと、あやり

(三一)

一 おもろ、ねやがりや、
あまへ、ぼしや

ほこり、ぼしや

又 志もの、世の、ぬしや、
やびく、とのむらよ、

(三二)

一 おもろ、ねやがりや、
およぐすく、けやむせ
又 せるむ、ねやがりや

(三三) ねやがりがまごくまいちやるがふし

一 おもろ、ねやがりや、
おりほし、かなしけ、
きよらやのみおどん
又 せるむ、ねやがりや
又 志もの、世の、ぬしの

(三四) せへのちまやうるじがふじ

一 おもろ、ねやがりや、

ゑかうよ、かうよ、

ゑかうよ、かみ、てだす、

ゑら、ちやらめ

又 亥もの、世の、ぬしの

(三五) ねいしまいしのふじ

一 おもろ、ねやがりや、

のぼて、みちやる、まさり

又 せるむ、ねやがりや

又 きこゑ、およぐすく

(三六) へごのあせもりの、おせやがふじ

一 おもろ、ねやがりや、げらへ、

せるむ、ねやがりや、ゑらへ、

おきな目、とよむ、ま物

うち、みちやる

又 けおの、よかるひよ、けらへ、

けおの、きやかるひよ

(三七) ちまやうるじがふじ

一 おもろ、ねやがりや、

せるむ、ねやがりや、

なおちへ、こよま

又 亥もの、世の、ぬしの、

あぢの、またの、あぢの

(三八) おりほじかなしけかふじ

校訂おもしろさうし

一 ねやがりぎや、

まご、くよいちや事、

ねやがりよ、

おもしろよ、 忍めて

又 ねやがりぎや、 煮ま中

又 ねやがりよ、

見らてり、^{ア、} いぢやる

(三九) ちまやうる^{ア、}じしかふし

一 おもしろ、 ねやかりや、

あぢ、 加ぼうど、 けまい、 よかる

又 せるむ、 ねやがりや

(四〇) きたたんよのぬしあかひやしがふし

一 おもしろ、 ねやがりや

(一)モ、和物

(二)モ、肴

せるむ、 ねやがりや

おもしろど、^(二)そない

せるむど、^(三)さかな

又 けおの、 世かるひよ

けおの、 きやかるひよ

(四一) つるこま^{ア、}くけしがふし

一 おもしろ、 ねやがりや、

そほらの、 つるぎ、 みちやる

又 煮もの、 世の、 ぬしの、

あぢの、 またの、 あぢの

(四二) きみがなしふし

一 おもしろ、 ねやがりや、

せるむ、 ねやがりや、

みやか、よせ、き、がなし
又こめを世のぬしの、
ま物世の、ぬしの

(四三)

一 おもろ、ねやがりや、
せるむ、ねやがりや、
しまうち、のり、がなし
又まもの、世の、ぬしの、
あぢの、またの、あぢの
又のりがなし、のり、よむちへ、
きしやえ、くち、ひきやちへ

てんかぞ四十三

(一)モ、あか
いんこ之事
(二)モ、同替
名

(四四)

一 あかの、おゑつきや、
ねこの、おゑつきや、
まよりまゆ、
も、うらひく、ぐすく
又まより、おや、ひがむ、
みづ、からど、世かける
又ぐすく、おや、ひがむ、

(四五) あかのこがねたてふし

一 あかのこが、大里いちへ、
大ざどの、おもい、いちへ、てだ
又ねこのこが、ま尻、いちへ

(一)モ、國々の按司の事
女按司の事を申すなり
(二)モ、皆々をいふ事なり

校訂おもしろさうじ
又えろ、つもい、ましい、みちやる

(四六) あかのこがふねたてふじ

一あかのこが、ね^(三)そのこが
も、ちやらの、ぶれ^(三)おもい、てだ
又大ざとい、さど、からる
又かでえが、みづ、からる

(四七) うらおそいのおやのろがふじ

一あかの、おゑつきや、
世、かえら、よせ、
御ぐすく、げらへ
又ねその、おゑつきや

(四八) ねいしまいしがふじ

(一)神世の時
御遊ニ申す
やしと申す
拍子打事
只今神樂
川候小え
ち

一あかの、おゑつきや、
ひやしのつち、うたは、
とも、と、ちよ見れ
又ねその、おゑつきや

(四九)

一あかのこが、うれし、あぢ、
世かけ、ひやし、みおやせ
又ねそのこが、うれし、あぢ
又あだまやの、うれし、あぢ
又あだまや、おきて、
よたい、^{アタシ}きよい、きくる

(五〇) きみがなしふじ

一あかの、おゑつきや、

(一)モ、御顔
の事

校訂おもしろさうし

うの時の、てだの、

あがて、てりよる、やよ、

おみかうの、みぼしや

又ねその、おゑつきや

(五一) きみがなじふし

一あかの、おゑつきや

みれつな、おきて、

かよあれとど、

おはたじ、よかゆる

又ねその、おゑつきや

(五二) ねいしまいしがふし

一あかの、おゑつきや、

おりぼしや、ちよじちへ

又ねその、おゑつきや

又まもの、世の、ぬしや

(五三) きみがなじふし

一あかの、おゑつきや、

ひやくさ、いのち、

じかてだよ、みおやせ

又まもの、世のぬしの、

あちの、またの、あちや

(五四) きみがなじふし

一あかの、おゑつきぎや、

人の、うらに、あつる、

かまゑ、よせ、かきつるぎ、

又ねその、おゑつきや

(一)モ、有と
いふこと
(二)モ、上納
之、事、ハハつ
か、かな、いと
申、て、人の、頭

のほど稲
たわりのつ
上納有之
る由こた

校訂おもろさうし

又玄もの、世のぬしの、
あぢの、またの、あぢや

(五五) きみがなしふし

一あかの、おゑつきぎや、
ねこの、おゑつきぎや、
うしこむと、あんよ、たぼれ
又玄もの、世の、ぬしの、
あぢの、またの、あぢよ

(五六) きみがなしふし

一あかの、おゑつきぎや、
玄げち、まみき、もりや、
ともくと、むかてだ、とやせ
又ねこの、おゑつきぎや

(一) 神酒なり

(五七) きみがなしふし

一あかの、おゑつきぎや、
ごもとの、あまび、
みちへど、うら、やみよる
又ねこの、おゑつきぎや

(五八) きみがなしふし

一あかの、おゑつきぎや、
ねこの、おゑつきぎや、
もどうら、おそう、
世そら、みおどん
又玄もの、世の、ぬしや、
あぢの、またの、あぢや
又いしかねに、やりよむちへ

たな、さるし、やりよむちへ

(五九) きみがなしふし

一あかの、おゑつきや、

ねこの、おゑつききや、

又まよ、そろへて、みおやせ

又まもの、世の、ぬしや、

あちの、またの、あぢや

(六〇) きみがなしふし

一あかの、おゑつきや、

ねこの、おゑつきぎや、

又まよ、ゆせて、みおやせ

又まもの、世の、ぬしや、

あちの、またの、あぢや

(六一) あおりやへがふし

一あかのこが、

おもろ、つゞみ、うたえ、

もゝうら、うちよせれ

又ねこのこが、

おもろ、つゞみ

(六二) やまきたらをさへがふし

一あかの、おゑつきや、

又まもの、よた、やれば、

たよる、から、きより

又ねこの、おゑつきや、

(六三) いしかねのやまがふし

一あかのこよ、よせ、うち、
 もちゑ、とらちゑ、
 よせ、うち、まゆ
 又まよ、うち、よせれ
 又ねこのこよ、なりよふ、
 もちゑ、とらちへ

(六四) 世そへうちもちちへみおやせがふし

一あかのこ、おゑつきや、
 いしかねの、やよ、
 をのち、つぎよけれ
 又ねこの、おゑつきや
 又いよよその、おきて、もろなる

(六五) 月てだのやまてか、ちよけれがふし

一あかの、おゑつきや、
 ねこの、おゑつきや、
 この、ひやし、あげれ
 又まもの、世の、ぬしの、
 あぢの、またの、あぢの
 又やまご、ゑむ、せんどう、
 つくしゑむ、せんどう

(六六) 夫よりもりのぼていけむがふし

一あかのこが、
 いよ、やよ
 又ま、おへく、
 世ながく、ちよけれ
 又ねといんこが、
 いよ、やよ

(一)モ、長命の事

(六七) うちいてはふねたてまがふじ

一あかの、おゑつきや、

ねその、おゑつきや、

月てだの、やよ、

て、^(二)か、ちよ^(三)じれ

又よろそ、月てる、

ひると、てだてる、

月のやよ、

又月や、おたしきよ、

てだは、世のぬし、

月てだ、やよ、

(六八) まへのちまやうるましがふじ

一あかの、おゑつきや、

(一)か、やく
といふこと
ん

(二)モ、治世
の事

ねそのいん、おゑつきや、

かみまもの、人、^(二)ひちめ、てだ

又きこへ、あぢおそいや、

こよむ、あぢおそいや

(六九) きみがなしふじ

一あかの、おゑつきや、

ねそのいん、おゑつきや、

てり、いちゑ、やり、ちよ^(三)じれ

又まもの、世の、ぬしや、

あぢの、またの、あぢや

(七〇) ふねたてはがふじ

一あかいんこが、

かみまもの、こよむ

(一)も、親の事

校訂おもしろさうし

おやもい、みおとの、げらへ
又ねさいんこが、

かみまも

(七一) 大きこのげらへみやぶのふし

一あかの、おゑつきや、

かほう、てだ、

めづらしや、

やまぐまぐ、てだ

又ねその、おゑつきや、

(七二) かねのてたみこしがふし

一あかのこが、

ふね、たてを、

くまの、ちやら、

(一)十聲へおが
しち申へおが
まは申へおが
れは御事
申上拜と物語
ことと云
(二)御顔

ごこいちへ

おまかう、おがま

又ねそのこが、

ふねたてを

(七三) あかいんこか世よせひやしがふし

一あかのこ、ゆよくむ、

またも、うちやがて、ちよむれ

又ねそのこ、ゆよくむ、またも

(七四) きみがなじふし

一あかのおゑつきや、

ねその、おゑつきや、

ごもゝご、ちよむれ

又あしかの、あらぎやめ、

(一)モ、扱
(二)モ、寒水
の事

校訂おもしろさうし

(二)

くもさうぞ、あらぎやめ、

又いしぎや、のちてば、

いしは、包れる、物

又かねが、のちてば、

かねと、ひちやむ、物

(七五) あかじんこがねたてをかふし

一あかのこが、

かねの、てだ、みこし

さしよ包やり、

世、そむる、みこし

又ねこのこが

かねの、てだ、みこし

(七六) まよりもりのぼていけをがふし

一あかのこが、

よせもい、

ひちやりも、

よぎりも、

かなしや

(七七) あかじんこかよくもまたもがふし

一あかのこが、

よせ、ひやし、

うちあがる、

ひやしや、

世、うちちへ、

みおやせ

又ねこのこが、

よせ、ひやし

第八

(一)モ、御大
刀

(七八) あかいんこがふねたてふし

一あかのこが、てだそ、
かよ、あれさど、
おとたい、よりゆる
又ねそのこが、てだい

(七九) も、ごふみあがりおふし

一あかの、おるつきや、
ねむの、おるつきや、
けお、まゆる、つかい、
もゝこの、つかい
又たくしの、ねくよ、
たくしの、まくよ

(八〇) も、ごふみあがりぎやあまぶきやうやがふし

一あかの、おるつきや、
ねその、おるつきや、
ゑいと、てだ
又たくしのねくよ、
たくしの、まくよ、

(八一) あおりやへがふし

一あかの、おるつきや、
まま世の、あらぎやめ、ちよとれ
又ねその、おるつきや

(八二) こむりきもよりかふし

一あかの、おるつきや、

校訂おしろさうじ

ねこの、おろつきや、

ともこと、とひやくさま、ちよとれ

又きおの、世かるひよ、

けおの、きやかるひよ

(八三) きみがなしふし

一あかの、おろつきや、

ねこの、おろつきや、

まま、よ、そろへて、みよとれ

又こめま、世の、ぬしの、

ま物、世の、ぬしの、

大正十四年三月十七日印刷
大正十四年三月二十日發行

校訂おしろさうじ卷一
初版六百部印刷

校訂者 伊波普猷

發行者 南島談話會

右代表者 岡村千秋

印刷者 柴山則常

東京市小石川區茗荷谷町五十二番地

發賣所 郷土研究社

振替口座東京二三九一七番